長野電鉄株式会社様 事例取材

あがたグローバル経営グループ

勘定科目や仕訳といった小さい質問から、M&Aやグループ内組織再編成などの大きなお話まですべて相談できます

写真左から 長野電鉄株式会社 宮澤康司 様 / 川島篤史 様 / 久保田敏之 様　あがたグローバル税理士法人 田中幹夫

長野電鉄株式会社

大正9年(1920年)設立。屋代駅～須坂駅間(現在は廃線)を皮切りに、北信エリアに路線を拡大。沿線への観光開発や不動産事業のほか、ガソリンスタンドや介護など地元の生活を支える事業へも多角化。地元に密着し、「ながでんグループ」として快適な生活を支える役割を担う。

主な支援内容

- 月次監査業務・税務申告を中心とした税務顧問（親会社・子会社）
- グループ内組織再編成・税効果会計・M&A・社内研修等

総合力のあるパートナーを探していた

長野電鉄株式会社　代表取締役社長
久保田敏之 様

久保田：長野電鉄は沿線の皆様の協力を得て創業者の強い使命感がつくりあげた鉄道網であり、地元に密着して路線を拡大してきました。一部廃線などもあったものの路線の拡大に合わせて、ホテルやレジャーなどの観光事業、タクシーやバスなどの交通整備事業、ガソリンスタンドや介護などの地元の生活基盤を支える事業へと多角化進めてきました。2022年には親会社以外の売上がグループ全体の約80%程度を占め、子会社はもっとも多い時で最大23社までに拡大しました。

あがたグローバル(当時、小林会計事務所)と出会った平成12年当時は、その時の顧問税理士には主に税務申告を依頼していました。また、依頼先は、長野県下ではなく埼玉県の税理士に依頼しており、遠隔での対応の難しさもありました。子会社が多くなり、順調な事業と決してそうではない事業もあるなか、組織再編をはじめとする幅広いアドバイスが必要となった背景があり、顧問税理士の変更を検討しました。

メインバンクからの紹介を通じてあがたグローバルと出会いましたが、それ以前から経営者同士がさまざまな経営者の集まりなどで知り合いであったこともあり、スムーズに依頼は進みました。

苦しいグループ再編を乗り越え、自己資本比率を改善

久保田：私たちは上場企業ではありませんが、経営環境が悪い時も財務状態は正確に出すことを信条としており、正しいデータに基づいてアドバイスをいただいています。依頼当時も、事業のすべてがうまくいっていたわけではなかったので、正直な情報をもとに組織再編を含めた見直しをご相談しました。

組織再編は大変エネルギーを使う業務で、社内の力だけでは難しく、なかなか単独ではできなかったのではないかと思います。あがたグローバルのみなさまの各分野の専門家の力をお借りすることで、当時厳しかった局面も大きなトラブルなく、一緒に乗り越えることができました。

その後、あがたグローバルとの顧問契約のおかげで、税務申告や決算だけでなく、グループ経営・組織再編・M&Aなど経営に関わる課題を多方面で相談できるようになりました。ひとつひとつ課題をクリアし、長い年月をかけて自己資本比率を高めることを優先的に判断し、目標とする財務体質を実現することができました。

小さな相談から大きな相談まですべて相談可能

川島：私は月次監査・年間決算・税務申告などを担当しており、あがたグローバルとは毎月膝を突き合わせて相談をさせていただいています。日々の仕訳や勘定科目の判断といった小さい質問にも丁寧に対応いただいています。他方で、M&A やデューデリジェンス、組織内再編などの大きなお話まですべて対応いただけるので大変助かっています。

長野電鉄株式会社　経理管理部
経理課長兼情報基盤課長
川島篤史 様

相談の範囲についても、経理だけでなく、人事制度や役員報酬といった労務分野でもご相談しています。あらゆる相談が長野の地元で完結できるということで、非常にやりやすいと感じています。

また、相談時にさまざまな場面で判断に迷った時も、あがたグローバルは長野の地元企業だけでなく、東京の企業や上場企業など幅広い経験をお持ちなので、地域のスタンダードや全国のスタンダードを加味した上で、われわれに判断基準を提示してくれます。そのため、経営に関わる悩み事があれば、まずはあがたグローバルに相談するという流れができており、経営課題の最初の相談の入り口という存在になってくれています。

月次監査で決算も早期化を実現、税務調査対応も心強い

長野電鉄株式会社　経営管理部
経理課　課長補佐
宮澤康司 様

宮澤：あがたグローバルへと顧問が変わって、主に税務申告のサポートを受けていた時とは、大きな差があると感じています。月次監査で日々丁寧なアドバイスをいただきながら、会計上の疑問点を残さないので、結果、年次決算のスピードも速くなりました。

特に心強く感じたのは、税務調査の対応です。すべて自分たちで対応するとなると、私たちも税務調査官とのやり取りに慣れているわけではないので不安もありますが、税務調査では立ち合いをしていただき、みなさまが税務調査官との対応に慣れているため大変頼もしかったです。

税務調査が入る以前から、あがたグローバルからのアドバイスを受け、グループ間のやり取りも明確なルールを決め運用してきました。月次監査も含め、常日頃から記憶にも記録にも残すように対応していたので大きな問題なく税務調査を完了できました。過去には子会社の税務調査で何も指摘がでなかったこともあり、社内でも「こんなこともあるんだ」とびっくりされました。

グループ全体を理解してくれている安心感

川島：あがたグローバルにはグループ会社各社の月次監査や決算申告等の税務顧問もお願いしています。そのため、親会社の方針も子会社に共有しやすく、子会社の状況も把握しやすい状況となっています。各子会社での実務レベルでの疑問点も早めに察知できるため、連結会計の時にも後からこじれるということもありません。子会社の状況にも詳しいため、グループ全体を端々までご理解のうえで各種アドバイスをいただけるので安心感があります。

多方面で経営の相談をできるパートナーに

川島：日々のご支援には非常に満足しており、引き続き高いレベルでサポートをいただけるとありがたいです。過去にはグループ会社の経理担当に向けて、決算向けの研修を行ったいただいたこともあります。最近では、インボイス制度や印紙税といったテーマでオンラインとリアル双方で研修を実施していただき、社内のレベルアップにも貢献いただいています。引き続き、新制度に関する情報提供・アドバイスをいただければありがたいです。

大掛かりなところでは、IT を活用した業務効率向上や新制度に対応したシステム対応を検討していますので、新しいチャレンジへもお力添えいただければと思います。

久保田：あがたグローバルも長野に根差した地元企業だからこそ私たちの歴史や事業への理解も深いと感じています。それだけに、表面的なアドバイスではなく、地元特有の事情などもよく理解した上でご指摘やご提案がいただけています。

コロナ禍での厳しい環境の中、われわれも経営管理として求められるレベルも高まっています。経営からの要求にも限られた人員でしっかりと業務を推進していけるよう、引き続き、幅広いテーマで経営の相談ができると大変ありがたいです。

担当パートナーからのメッセージ

グループ全体の経営をサポートするために、子会社各社の状況もすべて把握し、グループ全体を理解した上でアドバイスを行うように努めています。当社内のチーム体制も、各子会社において生じた疑問は、社内の司令塔（親会社を担当する者）に集約しています。重要な内容については、親会社の月次監査時に、親会社と情報を共有し、素早く問題に対処できるプロセスができています。また、子会社の担当者には、介護なら介護、建設なら建設、その業種の経験者を配置することで、業界特有の税務・会計にも適切に対応するチーム編成を行っています。

あがたグローバル税理士法人
田中 幹夫

長野電鉄グループ内にはさまざまな業種があるため、類似の他社ケースなども研究しながら、業種特性を踏まえ、適切に対応していく所存です。

いままで経理部門とのやりとりが主体でしたが、組織再編や M&A などでは経営企画部の方とも関係性を築き、グループ全体を見渡して、幅広いサポートができるように、引き続きご支援していきたいと思います。

あがたグローバル経営グループ

長野本社
〒380-0824 長野県長野市南石堂町1293番地3
長栄南石堂ビル3階
電話番号:026-217-2020　FAX番号:026-217-2223

東京本社
〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目7番10号
タンペイ日本橋ビル2階
電話番号:03-5200-1055　FAX番号:03-5200-1313